

発行所 田代町公民館
電話 19 番
発行責任者 小川 兵一
編集責任者 久保 幸雄
鹿屋市共栄町
新生社印刷所 電 2238

今のうちに共済へ

伸びる

武蔵景気岩戸へ変へなければならぬの景気と願がれであります。本町におきましても肉資源としての畜産が盛んになり年々向上の一途を辿つて居ます。生活が飼育は目を見るものがあるようであります。本町で努力しなければならぬのは天然飼料に恵まれて居りますのであるべく和牛の生産地帯として和牛の多頭飼育を経営計画の中に持つて行くべきではないかと思ひます。

日本では年約八〇万頭の肉牛が消費されつゝあります。が全国の生産数は約六〇万頭と云われて居ります。どうして牛の生産が肉豚より最も安定し飼育に金がかからない点等からして出て来る人は和牛の生産に努力しなければならぬと思ひ

する事が現在の急務ではないかと思ひます。この治療を効果的に簡単にするには高調波に依る治療器械が必要になります。約二十万位します。現在の共済組合ではこれを購入する余裕がありません。来年度は尙当局や農協にお願いして購入して貰つて万全を期したいと思つて居ます。この治療が徹底し年五〇〇頭の仔記の範囲までは無料です。これは病名、負傷が違えばそれぞれに対してこの範囲内です。から年一回加入入して置けば安全だと思ひます。よく共済期限が切れても次の掛金を怠つて居る時期に病氣や事故が起ります。ものですから切れたら早速掛けなおし安全を期しましょう。

家畜共済掛金表		
共済金額	掛	金
	牛	馬
20,000	680	1,200
26,000	884	1,560
30,000	1,020	1,800
36,000	1,224	2,160
40,000	1,360	2,400
46,000	1,564	2,800
50,000	1,700	3,100
56,000	1,904	3,550
60,000	2,056	3,850
66,000	2,290	4,300
70,000	2,446	4,600
76,000	2,680	5,050
80,000	2,836	5,350
86,000	3,070	5,800
90,000	3,226	6,100
96,000	3,460	6,550
100,000	3,616	6,850

診療費 共 濟 金 額	給 付 額	
	給付額 (治療金額)	牛 馬
20.000~24.999	1,000	1,200
25.000~29.999	1,200	1,440
30.000~34.999	1,400	1,680
35.000~39.999	1,600	1,920
40.000~44.999	1,800	2,160
45.000~49.999	2,000	2,400
50.000~54.999	2,200	2,640
55.000~59.999	2,400	2,880
60.000~64.999	2,600	3,120
65.000~69.999	2,800	3,260
70.000~74.999	3,000	3,600
75.000~79.999	3,200	3,840
80.000~84.999	3,400	4,080
85.000~89.999	3,600	4,320
90.000~94.999	3,800	4,590
95.000~99.999	4,000	4,800
100.000 以上	4,200	5,040

性犯罪はうなぎのぼり
女性に対するオオカミ
族の暴行やいたずらは
毎年うなぎのぼりにふ
えています。

昨年県下でこんなオオ
カミが一七七名もつ
かまっています。が
これは被害を受けた
人から告訴のあつた
ものだけで、
告訴しなかつたり
届けがなかつたも
のをあわせるると
いたした数になるも
のと思われまゝす。

“ねらつている”
ロワイ夜のオオカミ
田代巡査駐在所

方です。

被害者の年では十才から
十四才までが一番多くつ
ぎは十五才から十九才ま
で二十才から下の少女
が多いようです。

被害を受けた原
因を考へてみま
す。

1. あまいことばや
ウソのことばで
さそひ出された
2. 夜道のひとり歩
きを待ちぶせて
おそわれた
3. 戸締りが悪かつ

水明

はやはり、七八、九月です。いたずらされた場所では犯人の家や被害者の家などもつとめ多くつぎが道はた山林内などとなっています。また最近だまして自動車に乗せられ被害を受けた例が多くなっています。時間は夜八時ごろより午前二時ごろというのが大

あなたを

入りました。

4. 学校の行き帰りをねらわれた。

5. だまされて自動

車に乗つたため

などが順に多いようです。それで悲しい記憶を残さぬために何時も注意し田代町内よりオオカミ族を追放しましょう。

つたので十三四才の丁稚といつて伴の準備をやがて家を出ようとした辰巳には既に夜もしんとくちやけて外には人通りもなく雪ゆるものは宿なし犬の吠ゆる声と雪を窓に吹きつけつゝ強烈い風の風流はなりであつた俳諧師の風流は人でもた自分が名句を作りたいと言ふ一念がばいだから穿ぬるのも苦にならないのであるけれども可愛想なのは其の丁稚であつた。着物は華

このたび文部省主催の西日本婦人教育研究会西部地区が鳥取県三朝町で開かれ、この会に田代町婦人学級

が文部省の委嘱をうけ、町教育委員会より御依頼をうけてまして、ふつかなわたりに参加することになった。

三朝はラジウム温泉として、古くから温泉観光地帯だそうであります。バス道路も鹿兒島よりはるかに快適で、バスガイドさんの容姿、言動すべてが、きりつとした気持ちよい感じでした。

大阪学芸大学宇佐川先生の講演に、社会教育の基本的構想の理念として、民主平和、文化であることがあげられ、その上に立つて、わたしたち婦人が、何とかして過去の追従と奉仕の生活をやめ、そして力強い生産性、創造性の努力の必要であることを強調されました。

つきに社会性を培うために

・を働ひきょうげ致しました

各 県 代 表 者 活 発 に
意 見 発 表

西日本婦人教育研究集会

討論庭 ロールプレイング 可行なわけです。

が行われました。まず映画 PTA総会の発言について

によってロールプレイング 会議、出演者、父母、小学

の説明があり、そのつぎに 素材 PTAのおかあさん提 校の子供、中学校の子ども、

供映画が五分間ありました。その内容は運動会に PTA 演技内容、母：私が代弁し

Aが売店をやつて、PTA たが協力してくれなくてく の経費を作ることに反対の やしかった。しかし私が信

二 階 幸 子

婦人学級生代表

二人にたのまれたおかあさん 念を持っていなかった事も

んが、総会で発表したが、 たしが悪かった。売店をや

否決となり、二人のおかあ めるにしても隣近所から賛

さんもその場では反対を表 成を得て、いわば政治的に

明してくれなく、ふんまん この問題に取組まねばなら

やるかたないおかあさんー なかつた。

のところで映画がきられる 権力者やボスに従うことな

、そこでロールプレイング く、正しい事は私たちの手

ゆたかな持ち味

て隣から隣へと及ぼしたい。父：正しいことはもつと堂々と信念をもつて発言しなければいけない。PTAの経費は売店なんかより、市とか地教委で考えるべきではないか。

子供：私たち学校ではだれもの発言をとり上げて相談してくるのに、おかあさんの会は小学校より悪いと思う。もう一回相談してもらつたらどう。

祖母：近所の人をもつと勇氣を出して、結そくして当つてはしかつた。

近所の人：もつと多くの人に話しておけばよかつた。

総会にお偉方が多いのも考えものだ。子供のためにという言葉で片付けられてしまつた。私たちの協力が不

助言者のまとめ文部省「二宮社会教育官、ロールプレイングの出演者が経験のない人であつたであろうが、いそいそと出て熱演したことも社会性を培う要素がある。

役になつた人は完成された人でなく、その役になりきること、ガンコな祖母はそれになり切ることが大切だ。

討論について

隣の人が来て「ゴメンナサイ」とことわつたが、挨拶はなか、べんかいな仲間問題もあろう。

正しいことが「一人よがりアア」であつてはならない。自分の少ない経験範囲できめない

まうに売店のことより、子供たちのためになるかどうか、今一応考えるべきだ。それが集性を培う事にもなる。寄付集めにとも社交性があり社会性がある。

在会性は正しい考えにつながらなくてはいけない。社交性はうすつべらな人と人とのつながりである。豊かな人と人とのつながりが社会性でもあろう。

社会性のない人間とはどんな人か、ひとりよがりの人がんこな人、「自主性と協調してはいけない」

主性のない人、人のいうまになる人、けんきよさが必要であり、人と人との通点を見出し人を尊重すること。「その人その人はそれぞれ他にないよさを出す。それが社会性のある人である。」

わたしたちが、現実の生活に根ざした学習過程で、自分たちの手によつてもつと日常生活を廻り上げて考えながら、自分たちで苦しみながら、いろいろ研修に回を重ね、いろいろな経験をうみ民主平和、文化を求めたいものでございます。二日目の夜は、会館ホールで懇親会がもたれ十六県の郷土民謡を出すことになり、私達六名で鹿児島おほし節をにぎやかにおどつたら大変な拍手でございました。各県共珍らしい民謡が出され、腹の底から笑いました。

以上で三日間の研究集会の報告にかえさせて戴きます

けれども主人の言つてくだらないやとは言へないで泣きだしたに顔附でかじかん立っ手に提灯を持つて先に立つた其の様子がいかにもいぢらしいので俳諧師の妻は夫を呼びとめてこれが若き自分の子供であつたらよかつてはお出なさるまいかと云つて不びんがつた俳諧師ははたと感心して我の歌が子なら伴にはつれて夜半の雪」と思はず口ずさみ出奔したこれで句は出来たかどうかたいてい句は出来たのみとまい句が必要はないと言つて出かける由要はなれと雖も丁稚を休ませた又難かしく句に「雪の日やあれも人の子擡げい」と言うものもあるまことにあじわるべきである人間がお互に思いやり心かげがあれば世の中けつ明るい住よい社会がたゞに生れてくるのである其れは人としての道を守り良心的な行いであれば其れで結構と思う。

